

大門コミュニティセンター及び大門農村環境改善センターの今後の在り方に関する対話（サウンディング）型市場調査の結果の公表について

大門コミュニティセンター及び大門農村環境改善センターの今後の在り方について検討するにあたり、整備・運営手法や条件等に係る提案を求めるとともに、事業の市場性等を確認し、今後の事業実施に向けた参考とするため、対話（サウンディング）型市場調査を実施した。

1 実施経過

日程	内容
令和4年11月8日(火)	実施要領の公表
令和5年1月6日(金) ～ 1月31日(火)	対話（サウンディング）型市場調査の実施

2 参加事業者

2者

3 参加事業者からの意見・提案等

- ・経営継承する場合、ノウハウ（自社保守・修繕、多店舗経営によるコスト削減、そして、営業時間の変更などのソフト対応）により、現状の状況下においても、黒字経営ができる可能性はある。
- ・新たな年齢層（若者）を取り込むためにも一定の機能（サウナ、水風呂等）は、キラーコンテンツとして追加が必要である。
- ・入浴施設はアクティブシニアの社交の場であり健康寿命を延ばすうえでも継続すべきである。
- ・単なる売却・譲渡ではなく、地域活性化の一環と捉え、施設を拠点として開発したほうがよい。そのためには、飲食・物販機能、宿泊・居住機能の追加が望ましい。
- ・地域性のある植物を活かしたイベント風呂・アロマ等は若者、女性等を取り込むうえで有効である。

4 市場調査を踏まえた今後の方向性

- ・入浴施設継続を前提とした売却・譲渡についてプロポーザル、随意契約保証型民間提案などで売却・譲渡先を選定する。

5 今後のスケジュールについて

